



SAIJO
LIONS
CLUB

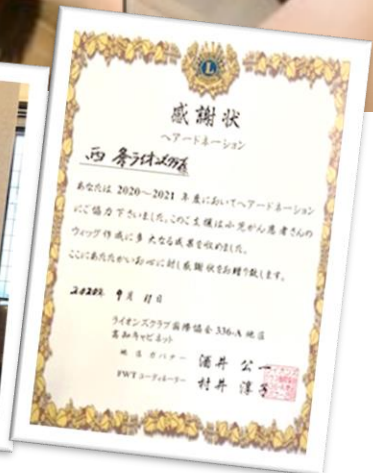
西条



ライオンズクラブ国際協会創立者
MELVIN JONES



ヘアードネーション



No. 520
10月号 2020

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区
2R4Z 西条ライオンズクラブ 広報誌



2020-2021 ライオンズクラブ国際協会会長 ジュンヨル・チョイ

テーマ 「 We Serve 」

2020-2021 ライオンズクラブ国際協会 336-A地区

スローガン「 Service Activity is the key to Lions Clubs 」

2020-2021 336-A地区ガバナー 酒井公一

スローガン「 誇り・進化・輝く未来に ウィサーブ 」
キーワード「 会員ファースト 」



2020-2021 西条ライオンズクラブ第60代会長 宮崎英明

スローガン「 感動で 一つの心 We Serve 」
キーワード「 絆 」

2R地区ガバナー公式訪問出席報告

第一副会長 曾我部克正

開催日時：2020年9月13日（日）於～YOURS

コロナの関係で出席者が制限された中で、キャビネット訪問者10名、地区名誉顧問、役員、委員、アシスタント13名、4Zの会長、第一副会長33名の出席にて開催されました。

西条ライオンズクラブからは、宮崎会長と今岡地区委員が仕事の為、伊藤 稔第2副会長が会長代理として出席頂き、宮崎会長に代わり今年度の目標と抱負を発表されました。

内容は、クラブ節目である60周年記念大会を来年5月に計画しており、会員増強に努め、記念事業を実施し、テーマでもある「絆」を固くしてこの一年を記憶に残るものにするに努めるという内容でした。

ガバナーからは、会員増強とLCIF100ドルの取り組みを中心に各クラブに説明を求められました。西条ライオンズクラブでは、3名の正会員、5名の家族会員増強を目標にしています。

LCIF100ドルへの取り組みは前向きに取り組むことを発表しました。

最後にガバナーからの総評で、今年度、各クラブで3名の新入会員が入会されれば、例会訪問いたしますとの事ですので、会員増強をよろしく願います、との事でした。

会議のあと、ゾーンごとに記念撮影、懇親会となりました。



越智英明

新型コロナウイルスの感染拡大は、世界の経済社会にかつてない深刻な影響を及ぼし、未だその危機から脱しきれていません。

私ども日本酒業界においても、本年に入ってから輸出の減少が顕著となり、外出自粛を受けた外食等飲食店における需要も激減が続いています。

更に、これまで順調に推移してきた訪日外国人客の増加も新型コロナウイルスの影響や東京オリンピック・パラリンピックの延期もあり、当面の回復の見込みが不透明な状況です。

日本酒の主原料は、「米と水」であります。愛媛県には、近年リリースされました酒造好適米「しずく媛」や「松山三井」「媛育71号」といった素晴らしい県産の原料米があります。この酒米を使用し、個性のある純米酒や純米吟醸酒が醸され、評価が年々上がっております。

愛媛県の補助事業である「酒米推進コンソーシアム事業」の一環として「しずく媛サミット」を毎年開催し、セミナーの開講や優秀な生産農家を表彰する等の取り組みに参画しております。

近年、世界的な和食ブームとともに日本酒は海外市場で順調に定着し、令和元年は輸出量・金額いずれも10年連続で過去最高を記録しました。

好調な輸出に合わせて、国内外においては様々な品評会やコンペが開催されるようになりましたが、県下の蔵元が愛媛県産米で醸造した日本酒が「最高金賞」や「ゴールドメダル」を毎年数多く受賞しております。蔵元の製造技術はもとより、愛媛県産の原料米のポテンシャルや酒造適正レベルの高さ、優位性は年々他県から注目されています。

米の作柄は天候や災害の影響を受けやすい面もあり、米質や量的に安定を図るのは困難ですが、生産農家や集荷団体、行政の皆様と連携を密にすることにより、原料米の合理的な価格による安定的な確保を実現しております。

多様化する消費者ニーズに対応するべく、個性のある高品質な商品を製造する為には、製造技術のスキルを向上させることが不可欠です。

毎年3月に愛媛県新酒品評会を開催し、品質向上を資することを目的に技術練磨の場としており、「大吟醸酒の部」「しずく媛の部」の2部門において、首席の蔵元には愛媛県知事賞が授与されます。

また、酒造期がひと段落した夏季には、国税当局や県中小企業団体中央会のご協力を賜りながら、県外から公設試の先生や人気有名蔵元の講師を招聘して、県内蔵元技術者を対象とした研修会を開講しております。

一昨年には、二十数年ぶりに酒造技能検定を開催し、本年まで1級・2級酒造技能士合わせて30名以上の国家資格取得を実現しました。

県内酒造の現場は、長年にわたり杜氏や蔵人といった季節雇用従事者に委ねられてきましたが、近年は県内蔵元のほとんどが、オーナー自らあるいは社員を中心とした製造環境に移行しており、若手の技術者育成が急務です。

昨年からは、愛媛県産業技術研究所の食品産業技術センター長である宮岡俊輔氏を中心に「IT、IoTを活用した高品質な日本酒製造」の共同研究にも取り組み、ものづくりについての探究心、情熱を常に持ちながら、県内蔵元が切磋琢磨して高品質な「愛媛の酒」の製造にチャレンジしています。

10月1日は「日本酒の日」です。お客様に、日本酒をより身近に、より美味しく感じて頂くこと、新しい発見をして頂くことを目途に日本酒の日に合わせて「ほろよいフェスタ」を毎年、松山市堀之内の城山公園にて開催しております。

瀬戸内海の煌めきに囲まれ、石鎚山の恵みに育まれた風土や気候の中で愛媛の酒は生まれます。愛媛の酒は、旨味があって、なめらかなやさしい口当たりの美しい酒です。

「愛媛から世界へ」困難な現状をくぐり抜け、心豊かに美しい愛媛の酒を皆様にお届け出来ますよう、これからも精進して参ります。



スポーツの秋 「レクバレー練習」

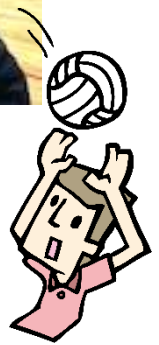
スポーツ委員会 安藤憲正

スポーツの秋です。今期も恒例の2R親善スポーツ大会が11月中旬に予定されており、昨年度の残念な結果を今年は何倍返し『倍返しだ!!』の意気込みで有志を募り、年間を通してここ最近には月に1度のレクバレー練習を行っています。

これまでは大会に参加すること、さらには一勝すること、あわよくば優勝することを目標に練習してきました。しかしながら、ついに届いた「中止のお知らせ」・・・。

今年はコロナ感染がまだまだ先行きが読めない状況なので、こうなることは予想もしていました。とても残念ですが、仕方のない事。そこで、少し気持ちをゆるくして、新しい目標を「月に一度、レクバレーをしよう!」と声を掛け合って集まること、体を動かすこと、をテーマに活動していこうと切り替えました。

皆さん、ぜひご参加ください。体を動かすことが苦手でしたら大声を出すことを目標にして、一緒に楽しみましょう。珍プレー続出、日頃は見られないメンバーの一面を見る事も出来、観戦するだけでも楽しいと思います。

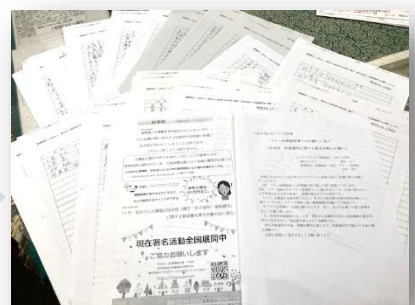


小児がん・若年がん罹患者の妊孕性（精子保存・卵子保存）に保険適用を請願する署名運動にご協力をありがとうございました

クラブメンバー関係者、会社・事業所、多くの皆様に趣旨を理解し、賛同いただきました結果

421名分の署名が集まりました。

キャビネットへ届けましたことをご報告申し上げます



シリーズ 伊予西條遺産

～ テーマ ～

侍町の形成と足軽鉄砲隊

伊予西条藩陣屋の誕生は寛永13年(1636)伊勢国、神戸(かんべ)から初めて入封した一柳直重によって成された。

即ち、陣屋の築造や町並みの区画造りはもとより、葦の生えた湿地帯と川を利用して塀を巡らし石垣を築き、中が見えない様に黒松を植え、その松と松の間に竹や丸太で矢来(やらい)を作った。出入口の少ない直線的な構造は平和の時代を反映した城主の居館や政庁となった。

「第一次西条藩」は一柳氏3代、30年後の改易となるまで続く。

「第二次西条藩」その後、御三家である紀伊徳川家の分家で、徳川家康の孫、又、黄門さまでおなじみの水戸光圀公のいここに当る、松平頼純が初代藩主として入封してから10代約200年を経て、明治2年(1869)の版籍奉還まで延々とつづくのである。

この間藩主のお国入りは僅か5回だったそうで、船にて大阪を出航して新居浜の大島港に入り、それから市塚の港に到着して、そこからかごにて陣屋入りしたと記録されている。驚くべきはその船の数、何と66隻にも及んだというからすごい。正に大船団である。200年間に5回というので陣屋もほとんど藩主不在ということだった。そのお国入りも、さしたる用もなく単に物見遊参の旅行にすぎなかった様だ。御三家の血筋に当たるということで参勤交替も免除されていたからこそ、こんな事も出来たのだろうと思う。

さて、侍屋敷は一柳氏の時代より、その陣屋をぐるりととり囲むように作られて、松之巷、竹之巷といった巷(こうじ)と名のつく所に置かれ、その侍町は今の西新町あたりだったと云われている。また、足軽鉄砲隊もその頃、同町に設けられ、地図にある様に上歩町(かみかちまち)下歩町(しもかちまち)に配置された。当時は土地の形成上、もし外敵が侵入するとすれば東方面からと考えられ、東側に社寺を作り、一大事の時は、その社寺が侍たちの砦となり守りにそなえた。

そして、その後方の上、下歩町に鉄砲隊が配置されたのである。

以上の事柄から、一柳氏がいかに陣屋の守りを固め更に本町を中心に各町並の整備を完璧に行い城下町を形成したかがうかがえる。

一柳氏の行った功績はすばらしく、後世までも語りつがれる所以でもある。

(参考文献) 万条先生所有の資料一部引用

城下町とその周辺の社寺





西条ライオンズクラブ会員募集中!!

ライオンズクラブとは

世界最大の社会奉仕団体のことです。

世界で約 210 の国または領域にあり 46,000 を超えるクラブが存在し、135 万人以上の会員がいます。あなたも世界の一員になりませんか。

西条ライオンズクラブは

国内で 334 番目、愛媛県下では 9 番目のクラブとして結成されました。「We Serve～我々は奉仕する～」を合言葉におなじ志をもつ仲間同士が集まって奉仕活動を行っています。

人の為に、社会の為に、一人ではできないことを、出会いを通して集まった会員が力を合わせて、それぞれの地域において社会奉仕に貢献していこうという団体です。



救急救命士講習会開催

ほのぼのシリーズ

【わたしの好きなもの】



No. 19 村上公明

①好きな食べもの

酢のり（昔の割烹むさしの味）
甲イカの煮つけ・河豚のざく

②好きな本

①いい会社をつくりましょう（塚越寛 著）
②名品茶碗（青磁・馬蝗絆 ばこうはん）

③好きな車

強いてなし、特にと言えば・・・
「トヨタ・ウィングダム」
もう乗らせてもらって 19 年になります

④好きな場所

平地島・比岐島

⑤好きな歌

アベマリア（シューベルト）

⑥好きな映画

ベンハー・十戒
（中学 3 年生の時、同級生と自転車で新居浜まで見に行き、スケールの大きさ、迫力に圧倒され感激したことを思い出します。）

編集後記



相変わらず先の見えないコロナ禍におびやかされる毎日です。連日の報道を聞くのもうんざりです。一日も早いワクチンの開発が待ちどろしい現実です。

14 世紀にヨーロッパで流行ったペストは、当時の人々の心に大きな変化をもたらしました。コロナが収束に近づいた時、私達の社会にも、社会的、経済的な影響をはるかに超えた一代変革をもたらしているだろうと考えます。

今はただ、各人が自覚を持った行動でコロナに感染しない環境を作るのが第一と思います。

さて、今期は西条高校元教諭、万条克己先生ご指導のもと「伊予西条遺産」をシリーズにてお届けしていますが、各々のテーマで取り組んでいく内、今迄全く知らなかった事柄が次々と出てきて編集者一同興味津々であります。引き続き、御期待下さい。

MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員 越智英明

発行者	会長	宮崎英明
	幹事	伊藤正己
[MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会]		
委員長/副委員長		盛實正人/小野雅志
編集委員		越智英明・寺川治美・日野克則 安藤和浩・高田潤一
例会日		毎月 第 1・第 3 火曜日 (12:30~13:30)
例会場		西条商工会館
発行		西条ライオンズクラブ事務局
印刷		プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市 779-8
西条商工会館 3F

TEL(0897)56-3980

FAX(0897)56-9251

E-mail saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ <http://saijo-lions.jp>

facebook <http://facebook.com/saijo.lions/>